

# デジタル系人材 大学が女性育成

## 情報学の魅力発信 若手研究者を採用



東大や東京工業大など国立大8校は情報学の魅力を発信するイベントを開いた（3月、東京都目黒区の東京工業大）

女性の情報系学部への進学増をめざす大学が相次いでいる。東京大など国立8校は中高生向けに情報学の魅力を共同発信。学生がキャリア選択の参考にできるよう若手の女性研究者を採用する動きもある。理系のなかでも情報学は女性が特に少ないとされ、デジタル人材の裾野を広げるために各大学が知恵を絞る。

## 教員ら「面白さを広めたい」

「日本ほど情報学を専攻する女性が少ない理由で、攻める女性が極端に少ない国は珍しい」。東大大学院情報理工学系研究科の中村宏研究科長は強調する。内閣府によると、2022年3月時点で日本の大学の入学者に占める女性の割合は自然科学系（27%）、工学系（16%）、ともに経済協力開発機構（OECD）加盟国内で最下位だ。デジタル分野にあたるICT（情報通信技術）系に限ると上位国は女性が3割程度を占める。日本は「全ての分野に関わ

りがある」という理由で、データがないが、複数の大学幹部が「肌感覚としては最下位」と口をそろえる。東大で情報学を専攻する女性は修士で全体の6%、博士で9%に過ぎない。修士で15%を割る東北大大学院情報科学研究科の加藤寧研究科長は「優秀な女子生徒が入ってこないのは研究力向上や社会サービスの上昇において大損失だ」と嘆く。

危機感を強める東大や東北大、東京工業大、北海道など国立大8校は、北大の長谷山美紀副学

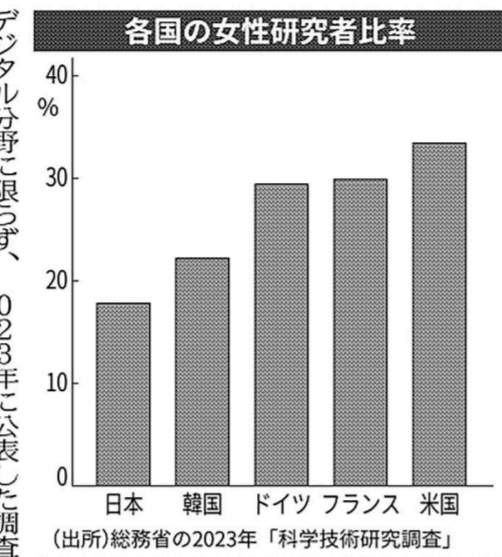
研究で活躍する女性研究者も新たに採用した。今井浩学部長は「学生の憧れとして、多くのデジタル人材の輩出に貢献してほしい」と話す。同年度の入学生の女性比率は3割だったが、25年度は4割を目指す。情報系学部の入試で「女子枠」を導入する大学も相次ぐ。広島大は3月、25年度の入試から情報科学部で15人の女子枠を設けると明らかにした。文理融合型の学びに取り組み学部で、学校推薦型選抜を利用した入試になる。他にも理学部と工学部といった特に男女比の偏りが著しい学部を選んだという。和歌山大も24年度の入試からシステム工学部で女子枠を設ける。人数は学部定員2900人のうち10人。担当者は「特に工

学系で女性が少ないなか、学習環境の多様化を進めていきたい」と話す。生成AI（人工知能）などの発展により、デジタル人材は今後一層必要になる。経済産業省は30年に約79万人が足りなくなると試算する。システムやアプリの開発過程で多様な目線が不足するとサービスの質が低下するとされ、女性のデジタル人材の育成は急務になっている。（大元裕行、三浦日向）

## 無意識の偏見 理系避ける？

国（33・4%）やフランス（29・9%）、ドイツ（29・4%）に10%以上差を付けている。東大など8校が開催したイベントに参加した東京都内の女子中学生は「親からは高校に入ると数学が難しくなる」と理由で文系学部をすすめており、悩んでいる」と打ち明けた。

## 数学や科学が苦手…



デジタル分野に限らず、023年に公表した調査結果によると、日本の女性研究者の比率は17・8%。米

## お茶の水女子大、要因調査へ

加藤副学長は男性だけでなくといった均一な集団からはインペーションは生まれない。調査結果を分析して中高生段階でいかに理系進学を阻んでいる」といききたい」とした。